

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	植木産業活性化イベント事業				財務会計上の事業名	さつき展開催事業・農業祭開催事業
第3期実施計画の区分 章/節(施策)/項目/事業番号	1	6	1	1	担当部署名	農政課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち				
	節(施策)	第6節農園芸の振興				
	項目	項目1 細河地域における植木産業の活性化と野菜農家の育成				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	農業祭やさつき展などの農業に関するイベントの開催や支援を行う。
めざす姿(目標)	農業への市民の関心・理解を深めるとともに、生産者の栽培技術の向上を図る。
事業の対象 (誰を、何を)	池田市さつき展(展示紹介及び即売会)、池田市農業祭
事業の手段・方法 (どのように)	開催
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度 (決算)	R元年度 (決算)	R2年度 (予算)	指標 値 (活動・ 成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)
	事業費(千円) A	128	128					
主な内訳	事業委託料	100	100	100	さつき展来場者数	1,500人	700人	1,700人
	賞賜金	28	28	28				
	負担金	650	650	650				
☆成果の達成状況					C.判断できない			
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	さつき展については雨天であったこともあり、客足が伸び悩んだため。また、農業祭については横ばいであったため。		
	地方債							
	その他()				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
一般財源 C	128	128	128	・上記「有効性・効率性」選択の理由	農業祭については「うまいdeいけだ」への掲載を開始し、若年層がアクセスしやすい環境を整備したことと、市内在住の一般市民による「流木を使った鉢植え教室」を企画し、好評を得、来場者を伸ばす取り組みを進めることができたため。			
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>今後も新型コロナウイルスの影響により、さつき展及び農業祭の中止の可能性がある。</p>	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
	<p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 新型コロナウイルスの影響により、令和2年度はさつき展を開催できず、農業祭も中止の可能性がある。令和3年度以降についても新型コロナウイルスの動向によりイベント事業の実施は左右されるため、動向を見守り適宜実施していく予定。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	農業経営支援事業				財務会計上の事業名	農業経営支援事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	1	6	2	1	担当部署名	農政課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち				
	節(施策)	第6節農園芸の振興				
	項目	項目2神田地域を中心とした都市農業の保全				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	各農業実行組合及び池田市生産者組合に対して、農業用資材の購入補助を行う。
めざす姿(目標)	安全な農産物生産及び地産地消を推進するとともに、農業経営の安定を図る。
事業の対象(誰を、何を)	各農業実行組合及び池田市生産者組合に対して、農業用資材の購入補助を行う。
事業の手段・方法(どのように)	有機肥料及び野菜結束テープの購入補助
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値 (活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	638	547	650		有機肥料購入補助	588千円/年	497千円/年	400千円/年
主な内訳	有機肥料購入補助	588	497	600	結束テープ購入補助	50千円/年	50千円/年	50千円/年
	結束テープ購入補助	50	50	50				
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	地方保持、市内産野菜のPRに寄与していると考えられるから。		
	地方債							
	その他()				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
一般財源 C	638	547	650	・上記「有効性・効率性」選択の理由	個人ではなく各団体へ助成を行うことで、事務量が軽減されると考えられるから。			
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>長きにわたり補助を執行している状況にある。</p>	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
	<p>縮小</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 農業経営への支援、池田市内産の農作物の出荷の援助に寄与していると考えているところではあるが、当該補助への需要、近隣市の状況と、農業者の自立という面を含め再検討を行い、今後は補助を縮小することも検討する。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	生産調整推進対策事業				財務会計上の事業名	農業経営支援事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	1	6	2	2	担当部署名	農政課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち				
	節(施策)	第6節農園芸の振興				
	項目	項目2 神田地域を中心とした都市農業の保全				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	制度の周知や農業者が行う経営所得安定対策交付金の申請の窓口となる。
めざす姿(目標)	経営所得安定対策制度を円滑に実施し、米の需給及び価格の安定を図る。
事業の対象(誰を、何を)	市内農業従事者のうち、米の転作等を行うもの
事業の手段・方法(どのように)	国からの事務経費等の生産調整対策事業費を受け、水田活用の直接交付金における産地交付金等の交付に係る申請、現地作付け確認、伝票確認等を実施し、当該交付金等の交付を行う。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)				
	(決算)	(決算)	(予算)									
事業費(千円) A	287	310	341	交付金申請者数	27人/年	27人/年	40人/年	C.判断できない				
主な内訳	指導員報酬金	69	0									
	消耗品費	205	0						49			
	システム利用料等	0	222						152			
財源	国・府支出金	287	306	277	上記「達成状況」選択の理由	現状は横ばいであるため。						
	地方債											
	その他()				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)						
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)						
	一般財源 C	0	4	64	上記「有効性・効率性」選択の理由	府支出金の額内で事業を実施できているため。						
一般財源比率 C÷A		1.3%	18.8%									
受益者負担率 B÷A												

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)	
近年特段の変化はない。	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
	現状維持 《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 国制度の窓口を担っており、事業の方向性について本市の裁量はないため。

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	鳥獣被害対策事業				財務会計上の事業名	鳥獣被害対策事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	1	6	2	3	担当部署名	農政課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち				
	節(施策)	第6節農園芸の振興				
	項目	項目2 神田地域を中心とした都市農業の保全				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	農作物に被害を及ぼす有害鳥獣の防除を行う。
めざす姿(目標)	有害鳥獣を捕獲し、農作物への被害を抑える。
事業の対象(誰を、何を)	農作物に被害を与える有害鳥獣(イノシシ、シカ、アライグマ等)
事業の手段・方法(どのように)	捕獲、殺処分
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	4,041	1,040	1,047		農作物被害額	10,745,000円/年	5,552,829円/年	9,500,000円/年
主な内訳	報償金	700	700	700				
	消耗品	341	340	347				
	器具費	3,000	0	0				
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金	145	145	149	・上記「達成状況」選択の理由	被害金額が減少しているため。		
	地方債							
	その他()				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
一般財源 C	3,017	1	0	・上記「有効性・効率性」選択の理由	鳥獣による農作物被害について、被害を防止することに寄与していると考えため。			
一般財源比率 C÷A	74.7%	0.1%						
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)	
狩猟を行う者の高齢化及び減少。	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
	<p>拡充</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 今後も猟友会と連携を行い、農作物に被害を及ぼす鳥獣に対し、実効性ある対策を強化していくところ。 また、狩猟を行う者の高齢化及び減少を鑑み、今後現状を維持していくためにも、狩猟免許取得に係る補助制度の創設等を視野に入れ検討していく。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	農業用施設管理事業				財務会計上の事業名	農業用施設管理事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	1	6	2	4	担当部署名	農政課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち				
	節(施策)	第6節農園芸の振興				
	項目	項目2 神田地域を中心とした都市農業の保全				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	灌漑用水ポンプ、池田井堰などの適切な維持管理を行う。
めざす姿(目標)	灌漑用水ポンプ、池田井堰などの適正な維持管理により、安定した農業用水を確保する。
事業の対象(誰を、何を)	灌漑用水ポンプ、池田井堰等の農業用施設
事業の手段・方法(どのように)	維持管理
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	3,651	1,181	7,845	池田井堰の修繕工事	—	設計	完了	
主な内訳	修繕料	2,603	0					
	光熱水費	1,048	1,116					
	補助金	0	0					
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金			☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)			
	地方債							
	その他()							
	うち受益者負担 B							
	一般財源 C	3,651	1,181					
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)			
受益者負担率 B÷A				☆上記「有効性・効率性」選択の理由	適切な維持管理を行うことができているため。			

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>池田井堰については、池田井堰水利組合の受益者が年々減少している状況にある。また、近年は豪雨等も増えてきている。</p>	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
	<p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 今後も、農業用施設の適正な管理に努めていくとともに、安定した農業用水の供給及び事故の予防に寄与する。こと等を鑑み、取水方法を変更することも検討する。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	大阪版認定農業者支援事業				財務会計上の事業名	大阪版認定農業者支援事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	1	6	3	1	担当部署名	農政課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち				
	節(施策)	第6節農園芸の振興				
	項目	項目3後継者や新規就農者の確保・育成				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	大阪版認定農業者による農機具の購入や、直売所の新設などを支援する。
めざす姿(目標)	農業者の育成・確保を図るとともに、農産物の安定的な供給を促進する。
事業の対象(誰を、何を)	大阪版認定農業者(都市農業・農空間条例に基づく者)
事業の手段・方法(どのように)	農業用機械、共同利用施設、直売所関連施設への費用補助
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	0	0	1,000	認定農業者数	3人	3人	8人	8人
主な内訳	補助金	0	1,000					
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金			・上記「達成状況」選択の理由	認定農業者数が増加したため。			
	地方債							
	その他()			☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)			
	うち受益者負担 B			☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)			
一般財源 C	0	0	1,000	・上記「有効性・効率性」選択の理由	農業者の負担軽減となるため。			
一般財源比率 C÷A			100.0%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)	
近年特段の変化はない。	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
	現状維持 《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 今後も現状どおり補助金の交付体制については継続していく。